YKK AP News Release ..... 2026 年 11 月 25 日

スマートホームの業界標準規格「Matter」に対応したスマートホームハブを発売

玄関ドアの施解錠や電動シャッターの開閉が、メーカーの垣根を越えてかんたんにスマートホームサービスに連携

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、グローバルなスマートホームの業界標準規格「Matter（マター）」（※1）に対応したスマートホームハブ（※2）を、12 月 25 日から発売します。当社のスマートドア（※3）や電動シャッターと接続し、中継器（ハブ）として機能することで、Amazon、Google、Apple（※4）などのスマートホームサービス（家電や住宅設備をスマートフォンなどでまとめて操作・自動化する仕組み）と連携が可能になり、自由で快適なスマートホームを実現します。

スマートホームハブ イメージ動画：https://www.ykkap.co.jp/qrmov/?454



スマートホームハブ設置イメージ

現在、スマートスピーカーや IoT 家電の普及に加え、国の脱炭素施策に伴う「HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）」の導入、さらに太陽光発電や蓄電池との連携が進んでいます。同時に、共働き世帯の増加や高齢化を背景に留守中の見守り・防犯ニーズも高まるなど、住まいの快適性や省エネ性、防犯性の需要拡大と無線通信規格の共通化による技術革新により、スマートホーム市場は今後さらなる伸長が期待されます。当社においても、玄関ドア・引戸の電気錠比率は 75%、シャッターの電動比率は 17%（※5）まで伸長し、開口部の電動化が進んでいます。一方で、「スマートホームに関する意識・利用実態調査（※6）」によると、スマートホーム化に関心がある層は 63.6%にのぼるものの、「不正アクセスや個人情報の漏洩が不安」や「機器ごとにアプリが異なり管理が面倒」、「初期設定や接続が難しそう」といった点が普及の大きな壁となっていることが明らかになりました。実際に、これまでは当社の開口部をスマートホームサービスと連携する際、サービス事業者が指定する機器しか接続できないことや、その設定や接続が難しいという課題がありました。

そこでこれらの課題を解決し、誰もがかんたんに理想のスマートホームを実現できるよう、業界標準規格「Matter」に対応したスマートホームハブを発売します。本商品は YKK AP のスマートドアや電動シャッターと各種スマートホームサービスを繋ぐ中継器です。「Matter」を採用したことで、強固な暗号化通信によりセキュリティ性も確保しながら、メーカーの垣根を越えて、住まいを柔軟にアップデートできます。Amazon、Google、Apple などのスマートホームサービスのアプリひとつで開口部や他社製家電を一元管理・遠隔操作できるほか、二次元コードを読み取るだけのかんたん設定を実現。さらに、配線を見せない壁付け納まりによる美しい空間調和に加え、開口部の長期使用を見据えた「アダプター方式」を採用することで、将来的な機器の更新やメンテナンスにも柔軟に対応します。

「いろんな家族に、フィットする家。」をコンセプトに、YKK AP の開口部とスマートホームハブによる「Matter」接続を組み合わせることで、変わりゆく家族のかたちや時代に合わせてアップデートできる、快適で豊かな暮らしの実現に貢献します。

＜主な商品特長＞

① スマートホームの業界標準規格「Matter」に準拠し、高い拡張性とセキュリティ性を確保
② スマートホームサービスのアプリひとつで玄関ドアや電動シャッター、他社製家電を一元管理可能に
③ スマートフォンによる二次元コードの読み取りで、かんたん接続設定
④ 配線を見せない壁付け納まり・空間に溶け込むシンプルデザインと、長期使用を見据えた「アダプター方式」

① スマートホームの業界標準規格「Matter」に準拠し、高い拡張性とセキュリティ性を確保

Amazon、Google、Apple などが参画する業界標準規格「Matter」に準拠し、メーカーの垣根を越えた機器連携を実現。住まい手自身がライフステージの変化に合わせて必要な機器を自由に買い足し、住まいを柔軟にアップデートできます。また、スマートホームの普及に伴い IoT 機器を狙うサイバー攻撃が巧妙化するなか、「Matter」が定める厳格なセキュリティ基準をクリア。強固な暗号化通信により、外部からのハッキングや不正アクセス、通信の盗聴、データの改ざん、なりすましといったリスクを低減し、住まいの安全性と家族のプライバシーを守ります。

② スマートホームサービスのアプリひとつで玄関ドアや電動シャッター、他社製家電を一元管理可能に

Amazon Alexa、Google Home、Apple Home などお好みのプラットフォームのアプリひとつで、当社のスマートドアや電動シャッターに加え、他社製の「Matter」対応家電（照明、ロボット掃除機など）までまとめて管理・遠隔操作できます。これまで機器やメーカーごとに乱立していたアプリを一本化することで、日常的な操作ストレスを解消します。また、スマートスピーカーを通じた音声操作やあらかじめ設定した生活シーンにあわせた機器の連携操作も可能です。例えば Amazon Echo の場合、「アレクサ、ただいま」とスマートスピーカーに話しかけるだけで、玄関ドアを施錠し、電動シャッターを閉めて、さらには照明の点灯やエアコンが稼働するなどルーティンをまとめて実行できます。さらに、外出先から玄関ドアの締め忘れの確認や戸締り操作、子どもの帰宅確認なども可能となり、家族の暮らしに寄り添い日々の生活の質を向上させます。



③ スマートフォンによる二次元コードの読み取りで、かんたん接続設定

スマートホーム機器導入時の課題であった機器連携のための複雑な設定が「Matter」採用により、かんたんになりました。各メーカーの専用アプリのダウンロードやアカウント登録は不要で、スマートホームサービスのアプリを立ち上げて、本商品（化粧カバーを外した内側）に貼付されている二次元コードをスマートフォンで読み取り、スマートホームサービスのアプリに追加するだけでスマートスピーカーと無線接続でき、遠隔操作が可能になります。スマートホームハブをスマートドアや電動シャッターなどの対象商品 1 セットにつき、それぞれ 1 台ずつ設置しておけば、スマートホームサービスに連携できます。新しい家電や機器を追加したい場合にも、「Matter」対応商品であれば住まい手自身でかんたんに追加登録が可能で、専門の業者に頼む必要はありません。誰でも届いたその日から手軽にスマートホームを始めることができます。



④ 配線を見せない壁付け納まり・空間に溶け込むシンプルデザインと、長期使用を見据えた「アダプター方式」



美観を損ねる配線やコード類が室内に露出しない、壁付け納まりを採用しました。ハブ本体は、無駄な凹凸を削ぎ落したスリムな形状と、インテリアに調和するマットな質感のホワイト色で、室内空間に美しく溶け込みます。また、インターフェースユニット（玄関ドアを施解錠する操作パネル）とサイズを合わせ、電動シャッター用リモコンと同系色の色調にすることで、壁面全体の統一感を保ちます。さらに、通信機器部分を開口部と分離した「アダプター方式」を採用することで、機器のメンテナンス・故障交換の際にも、玄関ドアや電動シャッター本体を取り替えることなくハブ（アダプター）の交換だけで柔軟に対応し続けられます。新築住宅はもちろん、既存住宅のリフォームへの後付けにも対応しています。

【商品概要】

商品名	スマートホームハブ
接続対象の YKK AP 商品	【玄関ドア・引戸（AC100V 式 スマートコントロールキー搭載）】（※7） ・「イノベスト」D70／D50／D50 防火ドア ・「ヴェナート」D30／D50 防火ドア ・「プロント」 ・「ドアリモ 玄関ドア」 D50 高断熱ドア／D30 断熱ドア／D30 防火ドア／アルミドア ・「M30 顔認証自動ドア」 ・「コンコード」S30／S30 防火ドア 【電動シャッター（JEM-A 端子付）】 ・リモコンスリットシャッターGR ・リモコンシャッター／リモコンシャッターGR／リモコンシャッターGR（防火窓） ・「マドリモシャッター」（非防火のみ）
参考価格（※8）	49,000 円
商品サイズ	幅 115mm × 高さ 120mm
販売地域	全国
発売日	2026 年 12 月 25 日
売上目標金額（※9）	2027 年度 1.8 億円

※1：「Matter（マター）」は、異なるメーカーのスマート家電や住宅設備を、メーカーの垣根を越えて相互に接続・操作できるようにするための標準規格です。コネクティビティ・スタンダード・アライアンス™によって開発されました。（ブランド、関連ロゴ、およびマークは、アライアンスの商標であり、すべての権利は留保されています）

※2：照明や室内カメラなどの様々な家電・スマート機器を、スマートフォンやスマートスピーカーでまとめて管理・操作できるようにするための中継機器。

※3：スマートドアは電気錠を搭載した玄関ドア・引戸です。

※4：Amazon、Echo、Alexaは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。Google、Google HomeはGoogle LLCの商標です。Apple、Apple Home は Apple Inc.の商標です。

※5：YKK AP の玄関ドア・引戸およびシャッターの出荷実績より（2025 年度）

※6：「スマートホームに関する意識・利用実態調査」（YKK AP 調べ）。全国の 20 代～60 代の男女 1,111 名を対象に 2026 年 7 月 31 日（金）～8 月 2 日（日）オンライン調査を実施。

※7：電気錠の機能をドアハンドルに一体化したキーシステム「スマートコントロールキー」の AC100V 式およびインターフェースユニットが必要です。

※8：参考価格は、スマートホームハブ本体一式の販売価格です。取付費・現場搬入費・消費税は含まれません。

※9：スマートホームハブのみの売上目標金額です。玄関ドア・引戸や電動シャッターなどは含みません。